

新型コロナウイルス感染症防止対策禍のなかでの出来事を紹介します！

南院内景観めぐり ウォーキングを開催しました

11月3日文化の日に、第10回目となる南院内景観巡りウォーキングを開催しました。

今回は、野地集落集会所を集合場所としての温見谷石橋めぐりコースで30人が参加。出発式で佐矢会長が『院内の秋の景観を歩きながら楽しんでください。』とあいさつ。出発式後、念仏橋を皮切りに飛石橋、中銅橋、野地橋を巡り再び野地集会所でゴール。コースの途中では野イチゴを見つけての歓声や、田んぼを囲った獣被害防護柵の多さなどに驚いていました。ゴール後は弁当や参加賞を配布し、今回初めてのお楽しみ抽選会を実施。地元の人が柚子や柿などを提供してくれたので参加者は非常に喜んでいました。



念仏橋での記念写

盛況のマチュピチュ展望所売店！

令和3年度の売店は、新型コロナウイルス感染状況を観ながら3月27日（土）より販売を始めました。途中、何回か中断したものの11月末日まで営業。昨年同様、観光バスの立ち寄りには少なかったものの、自家用車やバイクでの立ち寄り者が多く、「ガチャくる号」の来場や[YUSULPAY]、「KAGUYA」などの音楽ライブ演奏時には会場も盛り上がりました。

今年も、野菜や新米、シイタケ、自然薯、竹工藝品などが店頭並び、売店スタッフと観光者との活気ある会話も聞こえるなど、盛況のうちに営業を終了できました。

令和4年度も、春ごろからの営業を予定していますので出品をお願いします。



由布市庄内町 大津留まち協との研修交流

11月13日の土曜日に、由布市庄内町大津留地区の「大津留まちづくり協議会」一行9人が南院内さとづくり協議会を訪れました。訪問目的は、まちづくり協議会としての“自主財源確保”への取り組みに関する研修で、宇佐市の協議会の状況を市の担当者が説明した後、マチュピチュ売店活用や古紙回収、林道整備などによる南院内さとづくり協議会の自主財源確保状況を説明。その後は、お互いの活動状況について意見交換をしました。一行はその後、マチュピチュ売店に立ち寄り、観光者が農産物等を購入している状況を見たり売店スタッフとの交流も行いました。



旧南院内保育園に 事務局が移りました。

南院内小学校に隣接する保育園は3年間入園者がなく、休園状態が続いていましたが令和3年3月31日をもって廃園となりました。

南院内さとづくり協議会では、保育園跡地利用について、協議会役員会や区長会などと昨年からの協議を続け、南院内地域での有効利用を市に要望していました。その結果、南院内さとづくり協議会に無償貸し付けという条件で使用できるようになりました。

施設の使用再開に伴い、幼児用トイレを成人用に改善、一部の雨漏り箇所や給排水設備の修理などを市が実施して、10月から使用が可能となりました。

旧保育園は「南院内さとづくり館（かん）」として、さとづくり協議会の事務室のほか、南院内小学校放課後児童クラブの活動場所として毎日子どもたちが使用しています。なお、さとづくり協議会の電話等は変更がありません。

関係自治区の区長さんへお願い！

令和3年度の石橋周辺環境整備事業（草刈、土砂撤去、ゴミ拾い等）の工期が近づいてまいりました。

石橋を有する自治区の区長さんには、昨年からお願ひしている「施工実績写真」の提出を、2月末日までに事務協へお願ひ致します。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

1